



イベント

祭りが生み出す

まちの経済効果

経済波及効果の分析結果と今後の展開

鳥取市では、祭りや行事などのイベント事業の現状を明確に把握し、その事業の見直しを図ることを目的に、経済波及効果の分析調査を始めました。

昨年度まで公表してきた観客動員数に疑問の声もあり、今年度からの調査では、特に観客数の実態を把握することに重点を置いています。

今年の「鳥取しゃんしゃん祭」の観客数の調査結果では、実数に近い値を求める調査方法のため、7万3,744人（前年17万人）と意外な数字でしたが、この実態を踏まえ、効果的に事業を展開していくための課題も見えてきました。

今後、費用対効果の検証を進めながら事業の見直しを進めていきます。

分析調査の結果

「鳥取しゃんしゃん祭」の開催による直接経済効果（主催者支出＋観客の消費支出…表1参照）は、約2億3千800万円となりました。経済波及効果は、県内で約4億2千800万円、うち鳥取市内で2億8千100万円（表2参照）の生産を誘発したものと推計され、主催者が支出した金額の13・3倍の効果が発生したことになります。また、このイベントの開催により、県内で43人、うち鳥取市内で30人の雇用創出効果が試算されています。

このように、「鳥取しゃんしゃん祭」は、大きな経済効果をもたらしたといえます。このほか、10月16、17日に開催された「お城まつり」の観客数は2万2千500人でした。また、鳥取港・鳥取砂丘への入込み客数など、主要観光拠点での実数把握も同時に進めています。

これから、正確数値分析をもとに、的確な対応策の構築を図っていきます。

<鳥取しゃんしゃん祭の直接経済効果>【表1】

直接経済効果合計	2億3,800万円
運営費	3,200万円
来場者消費額	2億600万円
宿泊費	3,800万円
飲食費	8,900万円
交通費	4,900万円
土産・買物費	3,000万円

<鳥取しゃんしゃん祭の経済波及効果>【表2】

	鳥取県内	鳥取市内
生産誘発額計	4億2,800万円	2億8,100万円
1次波及効果	3億2,800万円	2億5,800万円
直接効果	2億3,800万円	2億3,800万円
間接1次効果	9,000万円	2,100万円
2次波及効果	1億円	2,300万円
就業者誘発効果	43人	30人